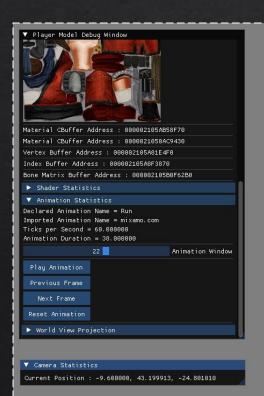
ポートフォリオ

ェルフィン チュアンドラ HAL大阪 4年 ELVIN CUANDRA







自己PR

エンジニアとしての強み

1つ目

最新技術を作品に取り入れる

新しいものにチャレンジすることで、自分自身をより成長できる 環境を常に整っています。

2つ目

デバッグしやすい環境を構築

コードの可読性を重視しつつ、積極的にコードレビュとモジュール化 を行い、より整合性を維持できます。

なりたいエンジニア像

チームプレイヤーとして

ナームのために積極的に貢献できる人になりたい

チームの一員として、自分の役割を理解し、全員が納得できる決着点を探ることで、チームの仲間から信頼してもらえるようになりたいです。

プログラマとして

より成長できるために技術を使えるようになりたい

新しい技術を継続的に取り組み、自分自身をより成長できることで、ゲームのどの部分にどんなことをするか、どんな技術が最適なのかを判断して、様々な技術に取り込むことで、開発ワークフローをより効率化できるようになりたいと考えています。

AnimFramework

受賞 3年次 HAL EVENT WEEK 構成力賞

環境

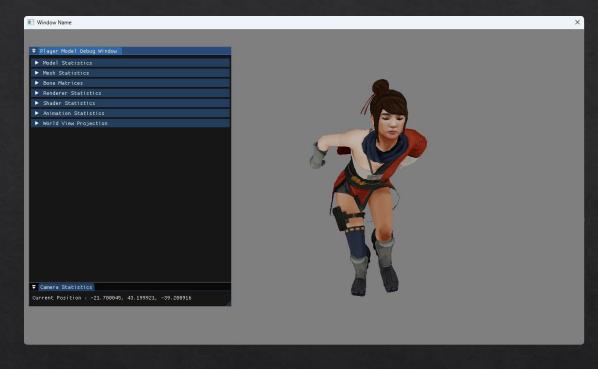
- Visual Studio 2022
- •C++17
- •DirectX11

外部ライブラリ&ツール

- SimpleMath
- WICTextureLoader
- Assimp
- •GitHub
- •ImGui

制作目的

アニメーションの原理を学ぶ



挑戦したこと

描画APIを利用したスケレタ ルアニメーションの再生

制作期間:約1.5月間

参考書

- •Gregory, J. (2019). Game Engine Architecture. CRC Press, Taylor & Francis Group. Game Engine Architecture (gameenginebook.com)
- ・Mukai T., Kawachi K., Miyake Y. (2020). キャラクタアニメーションの数理とシステム. コロナ社.
- <u>キャラクタアニメーションの数理とシステム 3次元ゲームにおける身体運動生成と人工知能 | コロナ社 (coronasha.co.jp)</u>
- •Nystrom, R., & Nystrom, R. (2015). Design patterns Für Die Spieleprogrammierung. mitp. Game Programming Patterns

頂点シェーダを用いたスケレタル アニメーションの描画の高速化

CPU側ボーン行列計算

```
outMatrix.al = matrix[0].al * deformVertex->BoneWeight[0]
           + matrix[1].al * deformVertex->BoneWeight[1]
           + matrix[2].a1 * deformVertex->BoneWeight[2]
           + matrix[3].al * deformVertex->BoneWeight[3];
outMatrix.a2 = matrix[0].a2 * deformVertex->BoneWeight[0]
           + matrix[1].a2 * deformVertex->BoneWeight[1]
           + matrix[2].a2 * deformVertex->BoneWeight[2]
           + matrix[3].a2 * deformVertex->BoneWeight[3];
outMatrix.a3 = matrix[0].a3 * deformVertex->BoneWeight[0]
           + matrix[1].a3 * deformVertex->BoneWeight[1]
           + matrix[2].a3 * deformVertex->BoneWeight[2]
           + matrix[3].a3 * deformVertex->BoneWeight[3];
outMatrix.a4 = matrix[0].a4 * deformVertex->BoneWeight[0]
           + matrix[1].a4 * deformVertex->BoneWeight[1]
           + matrix[2].a4 * deformVertex->BoneWeight[2]
           + matrix[3].a4 * deformVertex->BoneWeight[3];
```

<u>頂点シェーダボー</u>ン行列計算

GPUの並列処理を利用し、ボーン 行列の計算を行うことでCPU側に おけるボーン情報の更新経過時間を 103ミリ秒→18ミリ秒に抑えられます。



CPUの負荷を軽減できる

CPU 経過時間 (PIXによるデバッグデータ)

 Thread
 Thread 26912

 Address
 0x00007FF7BAEB2BE0

 Estimated Duration
 103.875 ms

 Estimated Start
 2,966.614 ms

 Estimated End
 3,070.489 ms

 Sample Count
 309



 Thread
 Thread 10480

 Address
 0x00007FF709F82330

 Source
 C:\Users\Elvin\Desktop\Project

 Estimated Duration
 18.803 ms

 Estimated Start
 1,910.007 ms

 Estimated End
 1,928.810 ms

 Sample Count
 19

変更前

変更後

依存性注入によるコードのモジュール化

依存性注入を行うことにより、 テスト容易性が高まり、単価テスト で依存関係を明確にします。その 結果、品質が向上できます。

```
// Forward Declaration
class ModelLoader;

class ModelRenderer
{
  public:
  void Init(std::unique_ptr<ModelLoader>& model)
{
    if (model == nullptr) {
        throw std::invalid_argument("model should not be null");
    }
    m_pModel = std::move(model);
}

private:
  std::unique_ptr<ModelLoader> m_pModel;
}
```

再利用性と可読性を検討しつつ、モジュールを書くことで バグを減らすだけでなく、生産性もより向上できる



indie-us games賞

浪速 と Moire



- Visual Studio 2022
- •UE5.0.3
- •C++&BP

チーム構成

15名 プログラマー5、プランナ3、 デザイナー4、 コンポーザー3

担当箇所

リードプログラマ

- プレイヤー全般
- ・UX全般(UI&VFXを除く)
- •Git管理



制作期間:約4月間

作品概要

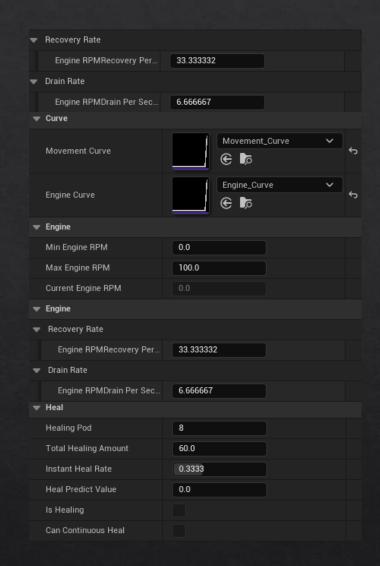
「ギリギリに迫るスリル」をコンセプトにした3Dアクションゲームです。 目標位置まで高速で移動でき、チェーンソーで敵を倒していく爽快さを感じる。

プレイヤーのパラメータが 調整しやすいように作りました



プログラマー以外でも調整できるため、 メインプログラマーとして、調整より、 実装に時間をかけることができました





レベルデザイナーを干渉せずに、楽々に バランス調整ができる環境を用意しています。

* ついでに、調整禁止変数をC++側から編集できないように設定しました。

インターフェスを常に利用する



インターフェースを使うことで依存関係を減らせる

```
(class・DRIVE_API・IHitInterface {
    GENERATED_BODY()
    // Add・interface・functions・to・this・class・This・is・the・class・that・will・be・inherited・public:
    //・攻撃が出さした時のダメージを渡すための関数
    UFUNCTION(BlueprintCallable, BlueprintNativeEvent, Category・=・"HitInterface")
    void GetHit(const・float・Damageinflicted);

UFUNCTION(BlueprintCallable, BlueprintNativeEvent, Category・=・"HitInterface")
    void GetHit_Player(const・float・Damageinflicted, EEnemyAttackHitReactionType・HitRea

UFUNCTION(BlueprintCallable, BlueprintNativeEvent, Category・=・"HitInterface")
    void GetHit_JustDodge(const・bool・WorldDynamic);
};
```

インターフェス



敵ベースクラス

知らない相手でも処理を呼び出すことができるため、キャストを利用せずに、ゲームの負荷を軽減できる!

